

平安講社
第八社

時代祭
と
われらの維新勤王隊



01 時代祭とは

時代祭は、京都三大祭の一つである平安神宮の秋のお祭です。時代祭当日は、時代装束姿の京都市民約2000人が20の時代列に分かれ、明治維新から平安時代までの歴史をさかのぼる構成で全長2kmにもなる大行列となって秋の都大路を進みます。



京都市の区域が拡大するとともに、参加する行列数も増加し、衣装も専門家により整備され、時代祭は日本の祭礼行事として広く知られるようになりました。

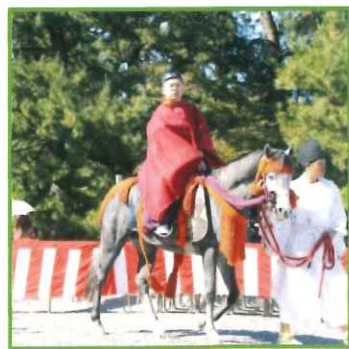


02 京都の誕生日を祝うお祭

時代祭は毎年10月22日に行われますが、この日は京都にとって大きな意味を持つ日です。

延暦13年（794年）のこの日、桓武天皇によって京都に都が置かれました。つまり、10月22日は京都の始まりの日、「京都の誕生日」として祝う大切な日です。

京都の誕生日に行われる時代祭は、京都を都として守り育ててこられた方々へ感謝する機会であり、これからの京都を受け継ぐ誓いを新たにしてお祭です。



03 次世代に伝える市民のお祭

明治維新に伴い、東京に首都が置かれ、京都は大きな変化に直面します。しかし、千年の都を誇りとした当時の人々は、心をひとつにして京都の復興を願い、教育、西洋技術の導入など多くの事業を進めました。その仕上げとして、明治28年に、平安神宮が創建されました。そして、平安神宮が創建されるとともに、市民によって「平安講社」が組織され、その事業の一つとして「時代祭」が行われることになりました。

時代祭は、京都の復興にかけた京都人の思い、心意気の象徴です。また、京都の大切さを知る市民たちの長く続く思いが、時代祭を支え、次世代に受け継がれています。

04 山国隊誕生までの歴史

平安講社第八社、維新勤王隊の歴史について、順を追って説明します。幕府の力が弱まっていた幕末の日本では、西欧の植民地化を防ぎ、天皇を中心とした国づくりを目指して新政府が樹立されました。ここから、明治維新の達成に向けた動きが始まります。



05 魁一山国隊の誕生

明治維新が進む中で、王政復古に激しく抵抗する人々を鎮圧する官軍（天皇、朝廷に属する軍）に加勢したのが、丹波の国（北桑田郡の山国村）の人々から構成された銃隊、山国隊でした。

明治元年（1868年）に王政復古の大号令が発せられた時、鳥取藩の河田佐久間景與が山国の人々に、新しい日本の建設のために官軍に参加すべきことを呼びかけ、それに応じた山国の人々が集まり、山国隊が誕生しました。

06 山国隊の時代祭行列参加

こうして山国村の人々によって結成された山国隊は、明治維新において活躍し、その功績から明治28年（1895年）の第一回時代祭の行列に参加を申し出て、列外として行列に加わるようになりました。

山国村の人々に官軍への参加を呼び掛けた鳥取藩は、英国（イギリス）式の兵制を取り入れていたため、行列参加の軍装も、英国式を取り入れました。軍鼓を打ちならし、錦の御旗を掲げ、胸を張って凱旋する姿を思い起こさせるものです。

07 第八社維新勤王隊初めて行列参加

時代祭の行列は、明治28年（1895年）当初は6列で構成されており、人員は500名規模でしたが、現在は20列、2000名規模まで拡大されています。

平安講社第八社は、朱雀学区の人々により大正10年に組織され、山国隊を継承しました。この際に山国隊を「維新勤王隊」と名前を改めました。それ以来、時代祭行列の先頭として大役を務めています。現在も陣笠に掲げられている山国隊の「^{さきがけ}魁」の精神は朱雀地区の人々によって、永く受け継がれています。



08 維新勤王隊

錦の御旗をはためかせ、♪ピーヒャリヒョ、ピーヒャリヒョと軽快なリズムを奏でる鼓笛の音に合わせ、行列の先頭をかざるのが「維新勤王隊」です。

時代祭を象徴する音色を響かせながら、維新勤王隊は軍楽隊として行進します。その衣装は職人の方々の手によって、山国隊が官軍に参加した際の行装が再現されています。^{さんさいはおり}三斎羽織に義経袴をはき、下には筒袖の衣、頭に鉢巻を巻き、陣笠をかぶります。そして脚絆、足袋、草鞋をはき、刀を身につけ、鉄砲を携えて列をなします。

09 演奏曲目

維新勤王隊は、士気を鼓舞する軍楽隊としての一面もあります。

隊士の皆さんが演奏するのは、「戊辰行進曲」と「朱雀行進曲」の二曲です。

「戊辰行進曲」は、時代祭当日全体を通して奏でられ、秋の都大路に響き渡ります。一方、神前奏楽とも呼ばれる「朱雀行進曲」は、時代祭当日、御所出発前と平安神宮到着の時だけ演奏される特別な曲です。

歴史のおさらいをした後は
演奏の確認をしましょう！
下記QRからどうぞ！



維新勤王隊の隊士の皆さんへ

時代祭は、都・京都の千年の歴史を描く時代風俗絵巻です。維新勤王隊はその先頭をかざります。京都や朱雀の歴史、熱い想いが込められていることを知り、伝統を後世に残す心意気を持つためのきっかけになればと思います。

発行日：2020年10月23日 第1版

発行：平安講社第八社

企画・編集：平安講社第八社立命班（2020年度立命館大学シチズンシップ・スタディーズⅠ「時代祭応援プロジェクト」）

協力：平安神宮（写真）・飯田晃（写真）・竹崎百合（写真・動画）・中島凜子（写真）